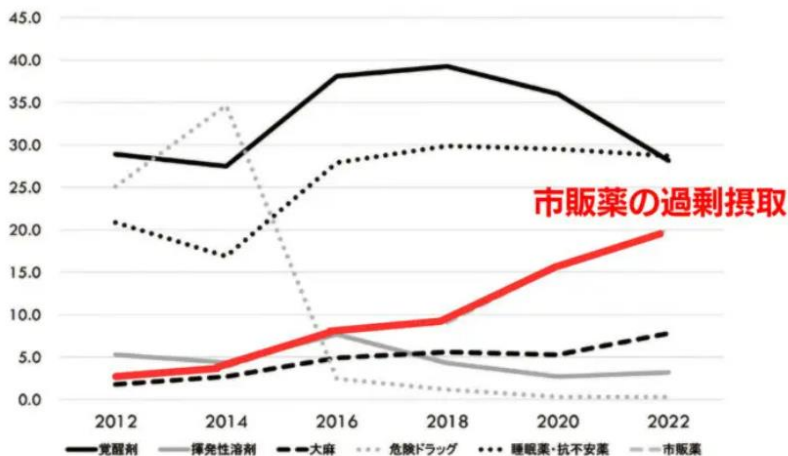


# 1月 依存症家族勉強会のお知らせ

## 市販薬依存(1)

下のグラフは国立精神・神経医療研究センターが2年ごとに行っている全国調査の結果です。市販薬の過剰摂取(OD、オーバードーズ)が年を経るごとの増えているのが明らかです。令和4年の調査でODで緊急搬送される10代、20代の8割が女性です。

1年以内使用あり症例の「主たる薬物」の推移



参照:2022年 全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態

### オーバードーズとは

オーバードーズとは、薬局やドラッグストアで購入できる風邪薬や咳止めなどを大量・頻回に服用することを言います。今、10代20代の若い世代を中心に増えています。市販薬が手軽に入手できるようになり、SNSなどでODしたときの情報が氾濫しており、ODのハードルは過去最高に低くなっています。常用しだすとあっという間に1日で常用量の20倍30倍の市販薬を服用するようになることが多いです。ODする目的は①気持ちよくなるため、②パフォーマンスを上げるため、③好奇心とピア・プレッシャ、④気分を変えるためではないかと言われています。

ODの背景には社会的に市販薬の扱いが大きく変化したことや、若者をとりまく環境の激変(特にインターネットによる負の影響)など、複雑です。

2025年1月12日に当院で開催される徳島ダルクフォーラムは「ODと消えたい気持ち」がテーマです。ぜひ、ご参加ください。

徳島ダルクフォーラム  
テーマ:ネクストアディクション  
～ OD 消えたい気持ち～

開催日時:令和7年1月12日(日) 13時～16時(12時半開場)

<講師ご紹介>  
◆倉田 めば 氏 (Freedom代表、大阪ダルクディレクター)

～プロフィール～  
新島市出身。大阪写真専門学校卒業。1993年フォトクラブアーの仕事をやめ薬物依存回復施設「大阪ダルク」を設立。2002年、薬物依存症からの回復を支援する市民団体「Freedom」を多くの賛同者とともに設立。新たな社会資源の創出に向けて奔走中。  
メンタルヘルス・ソーシャルワーカー、パフォーマンス・アーティスト。  
14歳の時から、シンナー、鎮痛剤、大麻、処方薬などを乱用し始める。18歳の時に東京に家出。リストカットも止まらなくなる。22歳、薬物依存と自傷のため入院。以降29歳まで4回の入院を繰り返す。20代の2年近くを精神科病棟で過ごす。仕事はアダルト業界カマラン。29歳の時、自即グループと依存症の回復施設につながり、クリーン(薬物を使わない生活)が始まり現在に至る。

◆精神科医 吉田 晴次 氏 (藍里病院 副院長) ◆弁護士 瀧 誠司 氏 (オアシス法律事務所 代表弁護士)  
◆精神科医 井上 麻由 氏 (藍里病院 医局長) ◆徳島ダルク研究会「Xリーグ」  
◆看護師 藤原 穂華 氏 (藍里病院 精神科認定看護師) ※裏面にプロフィール掲載

参加費:無料 ※申し込み不要、当日参加OK

会場: 社会医療法人 あいざと会 藍里病院 (C棟)  
住所: 徳島県板野郡上板町佐藤塚字東288-3

(主催) 徳島ダルク  
(お問合せ先) 徳島ダルク ディレクター 村上 亨  
(TEL) 080-3994-4173 (Mail) tdarc1212@gmail.com

「令和6年度 みんなが主役の人権啓発推進事業 (徳島県委託事業)」  
～依存症者の地域における回復と人権を奪えるフォーラム開催中～

**家族勉強会Aについて** 参加ご希望の方は、当院アディクション委員まで連絡いただくか、アンケート用紙にその旨を書いて郵送してください。参加できるかどうか折り返し連絡します。  
※動画配信について 家族勉強会Aに参加できない方のために勉強会を録画しています。これまでと同じ形で配信します。

**家族勉強会Bについて** 参加ご希望の方は当院アディクション委員までご一報ください。

1月11日(土)AM10時～家族勉強会B(意見交換会)/依存症研究所・研修ホール  
1月25日(土)AM10時～家族勉強会A(講義)/依存症研究所・研修ホール